



学校だより

第6号

発行日

令和7年9月30日

大有

教育目標
かしこく
なかよく
たくましく

子供たち一人一人の教育的ニーズに怠じた指導

特別支援コーディネーター

特別支援教育は、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行い、その子の可能性を最大限に伸ばすことを目指しています。大有小学校では、「困り感を抱える子に寄り添い、生活や学習における課題について支援する取組」を進めており、学校全体で子ども達を支援しています。

現在、大有小学校には、松かさ学級と若草学級の二つの種類の特別支援学級があります。個々の実態に応じて、教職員がチームとなって、交流学級の中で学習や活動の支援をしたり、特別支援学級の中で個別の学習や少人数での学習、自立活動、生活支援などをしたりしています。

今回は、特別支援学級で行われている「ソーシャルスキルトレーニング (SST)」の実践事例について紹介します。SSTとは、社会生活を送る上で必要な対人関係や日常生活のスキルを向上させるための訓練です。どちらも、対人関係やコミュニケーション能力を高めるための内容となっています。御家庭でも気軽にできる内容なので、機会がありましたら、是非やってみてください。

『かぶらナイス!』

(ねらい) 他者視点に立つ・周囲に合わせる・自分の意見を言う・柔軟に考える

(内容) 複数の解答者が、お題に合わせて連想するものを書き、その答えが誰とも重複しなければ、「ナイス!」というゲームです。多数派の意見を想像して避けたり、みんなが選ばないと読んで、あえて多数派のど真ん中の解答を選んだり、「他者の視点に立ち、他の人の答えも想像する」活動です。



(ゲームの流れ)

1. お題を聞いて、思いつくものを3つ書く。 「例：果物と言えバ?」
2. その中から、ほかの人が書いていなそうなものを1つ選ぶ。 「例：ドラゴンフルーツ!」
3. 一人ずつ発表し、かぶっていないか確認。かぶらなければ、「かぶらナイス!」。
4. なぜ、それを選んだのか理由を話す。答えに対して聞きたいことがあれば、質問する。

☆かぶらなかったことだけを評価するのではなく、自分とは違う考え方や見方があることに気付かせる。

『みんなの意見de それ正解!』

(ねらい) 周囲に合わせる・肯定的に関わる・話し合う・気持ちを表現する

(内容) 与えられたお題の解答を書き、自分の意見を発言したり、仲間の意見を聞いたりする活動です。「友達がどんなことを考えるかを想像し、自分と他者の思いの違いを感じることを重視します。

(ゲームの流れ)

1. お題を聞いて、自分の解答を1つ書く。「例：アから始まるおいしいものは？」
2. 一人ずつ順番に、解答を見せて発表する。「例：アイス、飴、あんぱん・・・」
3. 自分と同じ解答が出たら、その人も解答を見せる。
4. 発表された解答と違う答えの人は、「なるほど」、もしくは「なんで？」とリアクションする。
5. 「なんで？」と言った人は、その理由を述べる。「例：なんで、あめがおいしいと思ったの？」
6. 聞かれた人は、理由を述べる。「例：あめは、色々な味が楽しめて美味しいからだよ。」
7. 全員の解答が提示されるまで繰り返す。
8. みんなで話し合い、「それ正解!」を決める。「例：一番意見の多かったアイスにしよう!」



☆自分の思いを表現したり、友達の見意見を認めたりと、自分の解答が正解にならなくても譲る経験をさせる。子ども達が、相手に合わせようという意識をもてるようにする。

御相談や心配事などがありましたら、随時相談を受け付けておりますので、お気軽に御相談ください。



大有 愛がいっぱい平和プロジェクト

いじめを防止する取り組みとして、児童会学級委員会が、「愛のパトロール」を行いました。1学期中に「愛のパトロール」にふさわしいマスコットキャラクターを全校に募集したところ、130件の応募があり、総選挙により選ばれたのが右の「うるる」です。「うるる」のぬいぐるみを片手に、アンケートで集めた「ぼかぼか言葉」や「ぼかぼかしぐさ」を呼び掛けながら「愛のパトロール」を行いました。

いじめは「人として許されない」という強い気持ちをもつことや、一人で悩まずに、先生方や家族などの大人や友達に相談することを再確認し、2学期以降の教育活動も充実させていきます。

マスコットキャラクター
の「うるる」

第58回公開研修会（大有研）が終了しました！

9月5日（金）に、第58回公開研修会が開催され、約70名の参観者とともに、「自立した学習者の育成～自ら問いをもち自己調整をしながら学ぶ姿～」について、授業を通して学び合いました。主体的に学ぶ子供を実現させるには、教師のしかけや準備が重要であること、デジタルとアナログを使い分けることなど、多くの示唆をいただきました。後半は、北海道教育大学旭川校教育学部の 准教授から、御講演をいただき実り多い研修となりました。

臨時休業日のお知らせ

10月7日（火）は、旭川市教育研究会が開催されます。旭川市内の小中学校の教職員が、授業改善に向けて研修を深める1日です。学校は臨時休業日となりますので、午前中は家庭学習をするなど御家庭で過ごすよう指導しています。なお、3年2組は授業公開のため、通常通り登校します。御理解と御協力をお願いいたします。